

目次

1 計画の概要 P.3

2 基本構想 P.7

3 行政計画 P.11

3-1 行政計画の概要 P.11

3-2 重点目標集 P.15

3-3 分野別事業集 P.21

1. 循環型社会の推進	P.26	14. 地域医療の充実	P.70
2. 防犯・防災体制の充実	P.30	15. 子どもを生み育てる環境の充実	P.74
3. 林業・木材産業の振興	P.34	16. 教育環境の充実	P.78
4. 水産業の振興	P.38	17. 社会教育の充実	P.82
5. 農業の振興	P.40	18. 移住・定住の促進	P.86
6. 畜産業の振興	P.44	19. 住環境の充実	P.92
7. 商工業の振興	P.48	20. 道路・地域交通網の整備	P.96
8. 観光業の振興	P.52	21. 協働の促進	P.100
9. 人権・平和の尊重	P.56	22. 財政基盤の安定化	P.104
10. 社会保障と地域福祉の充実	P.58	23. 効率的な行政組織の運営	P.108
11. 障がい者（児）福祉の充実	P.60	24. DX推進	P.110
12. 高齢者福祉の充実	P.64		
13. 健康づくりの推進	P.68		

4 策定プロセス P.115

5 参考資料 P.123



1 | 計画の概要

1 計画の概要

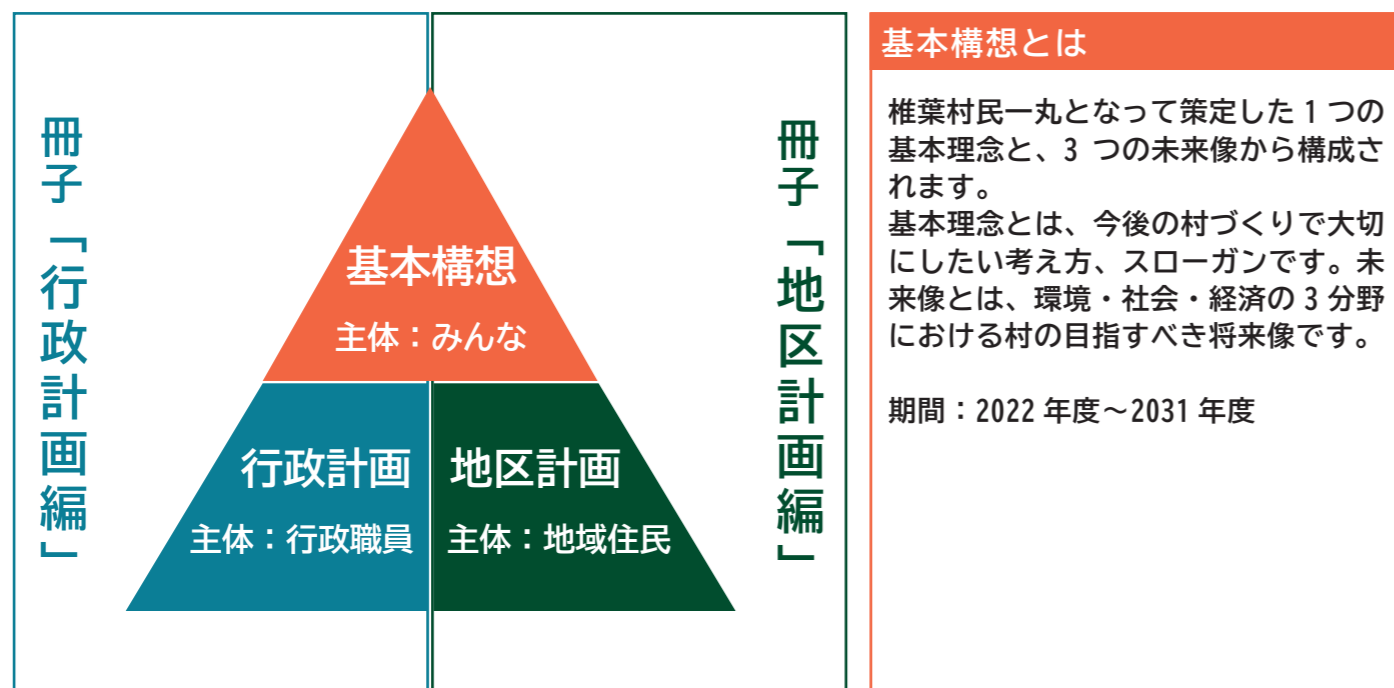
策定の目的

Volatility(変動性)Uncertainty(不確実性)Complexity(複雑性)Ambiguity(曖昧性)の4つが高まるVUCA(ブーカ)時代と呼ばれる昨今、未来を予測することは極めて困難な状況です。このような状況の中において本村は、人口減少・少子高齢化の急速な進行など、待ったなしの課題に直面しています。課題を解決し持続可能な村としていくためには、これまで以上に柔軟かつ効率的に行政と住民が一体となって村づくりを推進していく必要があります。行政と住民が共同で課題解決にあたり、持続可能な村にしていくための指針として第6次椎葉村長期総合計画を策定します。

第6次椎葉村長期総合計画とは

第6次椎葉村長期総合計画は地域住民全員が主体となる計画です。中長期的な村づくりの方向性を示す「基本構想」、基本構想を踏まえた行政の取組むべき施策を整理した「行政計画」、各地区の住民が取り組む活動を整理した「地区計画」で構成されます。

体系図



行政計画とは

行政が主体となって地域住民や民間組織と連携しながら取り組む計画です。分野別事業集と重点目標集の2つから構成されます。行政が取り組むべき24分野の方向性を整理したのが分野別事業集です。基本構想実現のための重点目標を整理したのが重点目標集です。

期間：2022年度～2026年度（前期）

地区計画とは

地区住民が主体となり、行政と連携しながら取り組む計画です。椎葉村を構成する10地区の地区住民がそれぞれ策定しました。行政はこの地区計画を支援しながら一緒になって総合計画全体を推進していきます。

期間：2022年度～2026年度（前期）

総合計画の特徴

行政職員と地域住民が一緒につくる

行政職員を含む地域住民全員が計画の実施主体です。そのため、策定プロセスにおいても全住民向けのアンケート調査や住民インタビュー、住民参加型のワークショップをそれぞれ複数回行いました。（詳しい策定プロセスについては115頁参照）

計画（冊子）の読み手のことを考える

計画（冊子）は地域住民向けの冊子、行政職員向けの冊子、というように読み手を明確化した上で作成しました。地区活動について知りたい地域住民にとっても、政策立案をしようとする行政職員にとっても、それぞれにとって活用しやすい計画（冊子）を目指しました。

行政計画の特徴

行政計画にはツール（道具）としての3つの役割を持たせました。

- ①ビジョン共有ツール
日々の業務がどこに向かっているのかという行き先を、基本構想や分野別の目標に明記することで職員全員にビジョンを共有する役割を持っています。
- ②マネジメントツール
村長や行政内の管理職が連携して各分野の進捗管理を行うための役割を持っています。業務の進捗率や達成度合いを計測するために、可能な限り数値目標を設定しています。
- ③コミュニケーションツール
各分野における目標と目標達成のための手段としての各種事業とをツリー図で表現することに挑戦しました。このことにより、なぜその事業をするのか、なぜその事業の優先度が高いのか、といった議論がしやすくなります。

計画の評価や振り返り方法について明確化しました。

これまで「行政の無謬性*」やその他複合的な要因により、事業の振り返りが十分になされていませんでした。対策として、本計画では具体的にどのように事業の評価・振り返りを行うのかを明確化しました。（分野別事業集「23. 効率的な行政組織の運営」参照）仮説・検証や事業の評価・振り返りといった組織文化を本計画を活用しながら作ることを目指しています。

*官僚組織等が無意識のうちに前提としてしまっている「行政は誤りを絶対に犯さない」という誤った前提や考え方、態度。

地区計画の特徴

実施主体を明確化しました。

地区住民主体の計画において、地区住民の「誰が」実行するのかということを実施体制図を作成することで明確化しました。

実行支援体制を明確化しました。

地区住民の実行を行政職員がどのように支援するのかを明確化しました。